



萩の里

黒部市立萩生小学校

学校だより2号

令和2年5月29日

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

新しい生活様式、新しい学校生活

校長 佐竹 康子

先週5月21日から分散登校により段階的に学校を再開しました。学校に子供たちの笑顔と元気な声があふれ、少しずつ日常を取り戻しつつあることを大変うれしく思っております。

保護者の皆様には、臨時休校中の子供たちの健康管理をはじめ、様々な連絡や家庭学習にご協力をいただき、本当にありがとうございました。今後も引き続き感染症対策やマスクの準備等、子供たちが健康・安全に過ごせるようご理解・ご協力をお願いいたします。

今週、緊急事態宣言が全国で解除され、政府からは「目指すのは新たな日常をつくり上げること」「感染リスクがあるから実施しないのではなく、感染リスクをコントロールしながらどうすれば実施できるかという発想が重要だ」という呼びかけがありました。

本校でも指針に従って、休憩時間の後、時間をとって手洗いの指導をしたり、座席を市松模様に配して十分な距離をとったりすること等により、感染リスクを減らすよう努めながら、教育活動を進めています。どんなに工夫を凝らしても感染の不安がなくなるわけではありませんが、可能な限り感染症対策を講じていく所存です。子供たちにとって不自由を感じる部分は多々あるだろうと思われませんが、対策を浸透させた日常生活、すなわち「新しい生活様式」に少しずつ慣らしながら、子供たちの健康・安全と学びの両立を図って参ります。今、起きていることは子供も大人も誰も経験したことのないことです。予測困難な状況でこそ培われる力もあります。子供たちには、「やわやわ」とこの新しい学校生活に慣れていくように、さらには、初めての課題や変化に勇気を持って向き合っていく姿勢や、仲間と力を合わせて課題を解決する力等、学校という集団生活の場で培われる力が身に付くように支援したいと考えています。



<市松模様に配した座席>

6月からは通常登校・通常授業となります。どんな状況でもたくましくがんばり抜く萩っ子と共にみんなで難局を乗り越えていきたいと思っております。

本校では、今年度、次のようなアクションプランを設定し、重点課題に向けて取り組みます。

令和2年度 荻生小学校アクションプラン1	
重点項目	【徳】生徒指導 ーやさしくー
重点課題	好ましい人間関係を築く子供の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶運動や「ぼかぼか言葉大作戦」等の取組の成果により、自分から挨拶したり、相手を思いやる言葉遣いを意識したりする子供が増えてきた。しかし、定着までには至っていない。 ・好ましい人間関係を育むためにも、挨拶や言葉遣いを意識する環境をさらに整えていく必要がある。
達成目標	・気持ちのよい挨拶や望ましい言葉遣いができる児童の割合80%以上を目指す。
方 策	<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭、地域の協力を得ながら、挨拶運動や「ぼかぼか言葉」の推進に取り組んでいく。 ② 相手を「～さん」と呼ぶことの習慣化を図る ③ 生活アンケートや教育相談、教職員間の情報交換等により、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、適切な対応に努める。
令和2年度 荻生小学校アクションプラン2	
重点項目	【知】学力向上 ーかしこくー
重点課題	主体的に学習する子供の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、発達段階に応じて家庭学習ノート（自学ノート）の目当ての冊数を見直した。低学年5冊、中学年6冊、高学年7冊を目当てとすることで、達成できる児童が増えてきた。しかし、見通しをもって自主的、計画的に取り組めない児童が見られる。 ・目当ての冊数を達成できた児童の中には、内容やまとめ方、丁寧さに課題が見られる子も多い。
達成目標	家庭学習に取り組む時間が学年の目標（学年×10分）に達成した児童の割合90%以上を目指す。
方 策	<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭学習ノート（自学ノート）の強調週間を学期に1回設定し、目当てと学習計画を立てることで、見通しをもって取り組めるようにする。 ② 学年の目当ての冊数を達成した児童を全校で紹介したり掲示したりしながら、全体の意欲付けを図る。 ③ 自学ノートの紹介コーナー（自学ノート展）等を工夫して行うで、内容面の充実に努める。
令和元2年度 荻生小学校アクションプラン3	
重点項目	【体】健康・安全の指導 ーたくましくー
重点課題	基本的な生活習慣が身に付いている子供の育成
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月行う「生活習慣チェック」の中の「就寝時刻」を守ることができた子供の割合が、低学年74.7%、中学年71.5%、高学年88.0%、全校平均77.7%だった。そのため、朝から眠そうにしている子供や集中力が続かない子供が多く見られる。
達成目標	毎月行う「生活習慣チェック」で「就寝時刻」を守ることができた児童の割合80%以上を目指す。
方 策	<ol style="list-style-type: none"> ① 「生活習慣チェック」や「とやまゲンキッズ」で就寝時刻の実態を把握する。結果を掲示したり、保健だより等で家庭に知らせたりすることで、「早く寝る」意識を高めるようにする。特に、就寝時刻が遅い子供には、個別指導を行う。 ② 「早寝、早起き」について保健指導や学級指導を行うことで、望ましい生活習慣が身に付くようにする。 就寝時刻が遅くなる原因の一つであるテレビやゲーム等の「メディアに費やす時間」について実態を把握し、減らす取組を工夫して行う。

学校再開（5月21日～）



児童玄関でのアルコール消毒（下学年）



座席の間隔を空けての授業（1年）



座席の間隔を空けての授業（3年）



外国語科の授業（6年）



ランチルームでの給食（下学年）



手洗いの様子（下学年）

臨時休校が終わり、分散登校が始まりました（～5/29）。子供たちの元気な声が聞こえ、活気あふれる学校が戻ってきました。子供たちは、間隔を空けた机の位置や手洗い場の並び方をしっかり守り、学習や手洗いにも一生懸命取り組んでいます。今後も感染症対策を取りながら、学習を進めていきたいと思ひます。

一人一鉢運動開始！ 5月28日（木）ベゴニア移植



5月28日（木）に、一人一鉢栽培活動としてベゴニアの鉢への移植を行いました。分散登校中のため、1～3年生は花と緑の銀行のグリーンキーパーの皆様にご手伝っていただき、4～6年生は、これまでの経験を生かして自分たちの力で苗を植えました。鉢は校門のフェンスに掛けてあり、今後、毎日水やり等の世話を児童がします。学校の前を通られた際にベゴニアの成長の様子をぜひご覧ください。

6月の行事予定

※変更になることがあります

1日（月）委員会	17日（水）第1回学校評議員会
5日（金）フレンド集会	19日（金）フレンド集会
8日（月）クラブ①	22日（月）クラブ②
10日（水）リサイクルの日、尿検査（1次）	24日（水）リサイクルの日、尿検査（2次）
11日（木）プール清掃、尿検査（予備日）	PTA常任・全体委員会
12日（金）避難訓練（地震、津波）	26日（金）フレンド集会
15日（月）家庭学習がんばり週間（～21日）	29日（月）クラブ③
教育相談週間（～19日）	